

**製品名: ADAMTS-7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06602**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	ADAMTS7
別名	ADAMTS7; A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 7; ADAM-TS 7; ADAM-TS7; ADAMTS-7; COMPase
遺伝子 ID	11173.0
SwissProt ID	Q9UKP4
免疫原	ADAMTS-7 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 150-230

**背景**

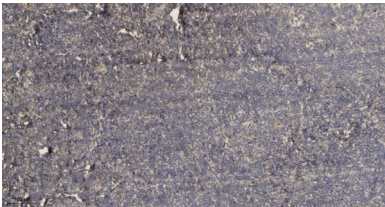
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ADAMTS（トロンボスポンジンモチーフを有するディスインテグリンおよびメタロ

プロテアーゼ) ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーは、プロペプチド領域、メタロプロテアーゼドメイン、ディスインテグリン様ドメイン、およびトロンボスポンジン 1 型 (TS) モチーフなど、複数の異なるタンパク質モジュールを共有しています。このファミリーの各メンバーは C 末端 TS モチーフの数が異なり、中には独自の C 末端ドメインを持つものもあります。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟酵素を生成します。この酵素は 2 つの C 末端 TS モチーフを含み、血管平滑筋細胞 (VSMC) の移動を制御していると考えられます。この遺伝子の変異は、冠動脈疾患の感受性と関連している可能性があります。 [RefSeq 提供、2016 年 2 月], 補因子: サブユニットあたり 1 つの亜鉛イオンと結合する。 ,ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離することで、酵素が活性化される。 ,ドメイン: スペーサードメインと TSP タイプ 1 ドメインは、細胞外マトリックスとの強固な相互作用に重要である。 ,機能: COMP の分解に関与する可能性のあるメタロプロテアーゼ。 ,誘導: 関節軟骨および関節炎患者の滑膜において発現が上昇する。 ,PTM: フーリンエンドペプチダーゼによって切断される可能性がある (類似性による)。前駆体は順次処理される。 ,PTM: N-グリコシル化されている。 ,PTM: O-グリコシル化プロテオグリカン。コンドロイチン硫酸を含む。 ,類似性: ディスインテグリンドメインを 1 つ含む。 ,類似性: ペプチダーゼ M12B ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: PLAC ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: TSP タイプ 1 ドメインを 8 つ含む。 ,細胞内局在: 細胞外表面にも存在する。 ,サブユニット: COMP と相互作用する。 ,組織特異性: 心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓に発現する。半月板、骨、腱、軟骨、滑膜、脂肪、靭帯にも検出される。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。